

＜泉大津市における要支援高齢者のケアニーズ調査結果の概要＞

1. 調査の目的

泉大津市における要支援高齢者の状態像、介護保険サービス利用状況、本人の希望、ケアニーズ・パターンを明らかにすること。

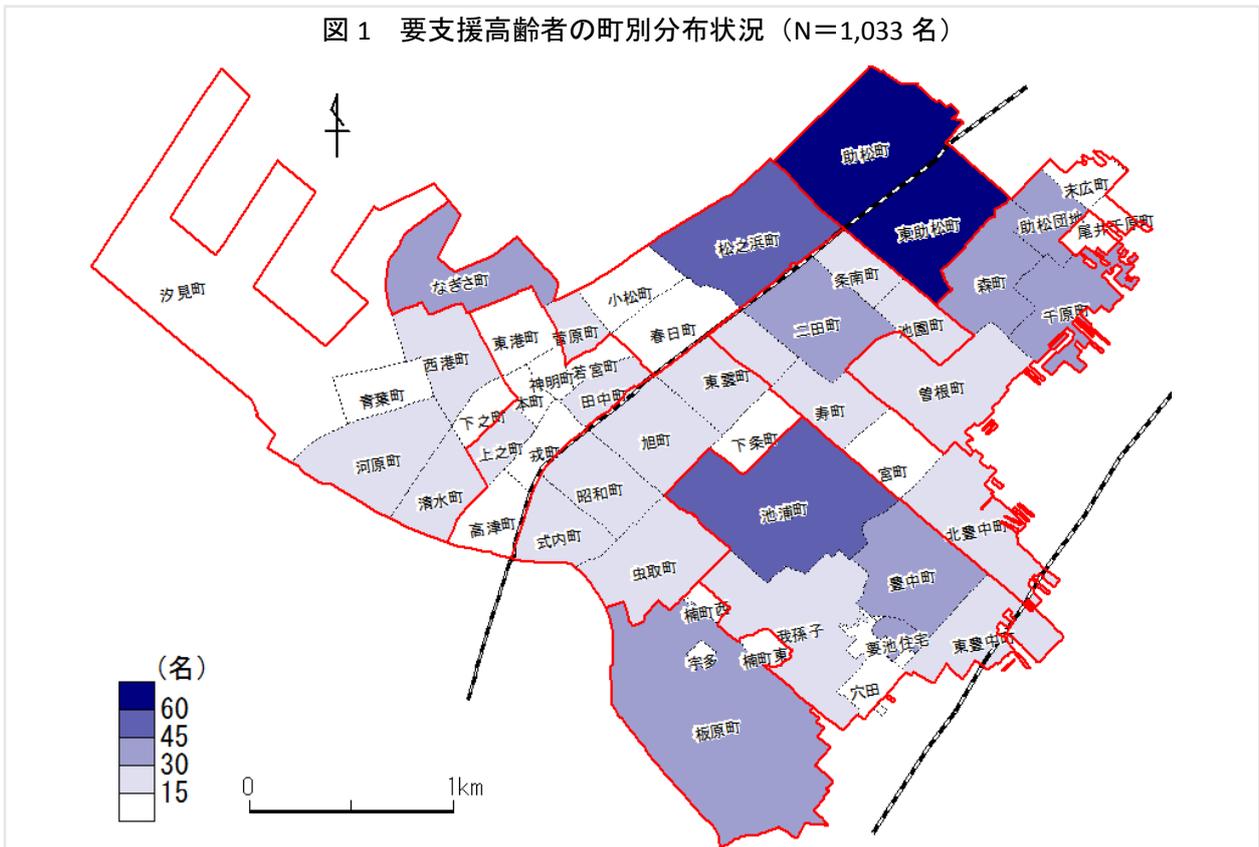
2. 調査方法と調査内容

調査対象	泉大津市の要支援高齢者全 1,033 名（平成 26 年 8 月末） （うち、訪問調査完了者は 710 名）
調査方法	① 市担当課の介護給付報告 ② 地域包括支援センター専門職による家庭訪問調査
調査期間	平成 26 年 10 月～平成 27 年 1 月
調査内容	① 基本属性（性別、年齢、世帯構成） ② 状態像（虚弱性、握力低下、低体重、抑うつ、認知機能低下） ③ 介護保険サービス利用状況 ④ 本人の希望（買い物、受診、地域交流の希望など） ⑤ ケアニーズ・パターン

3. 結果

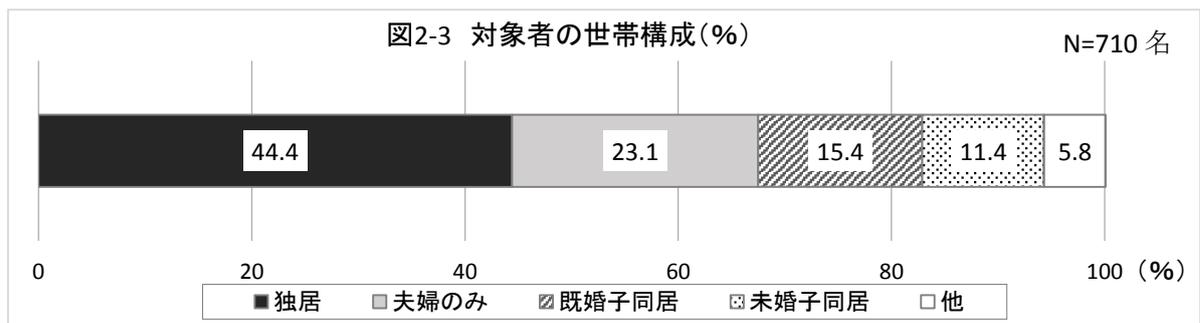
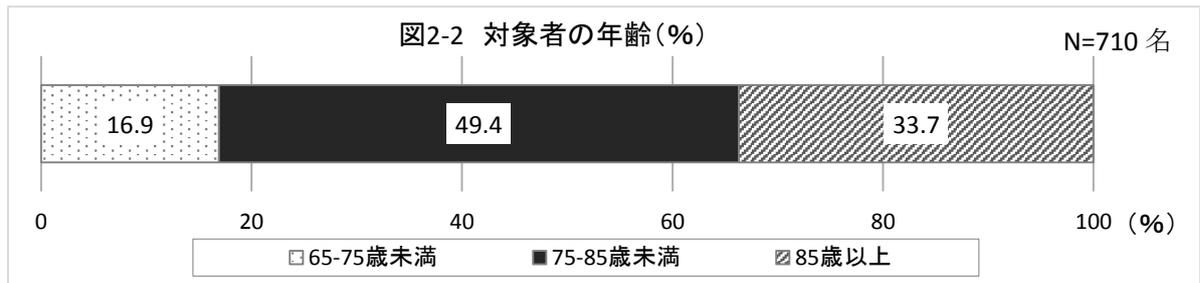
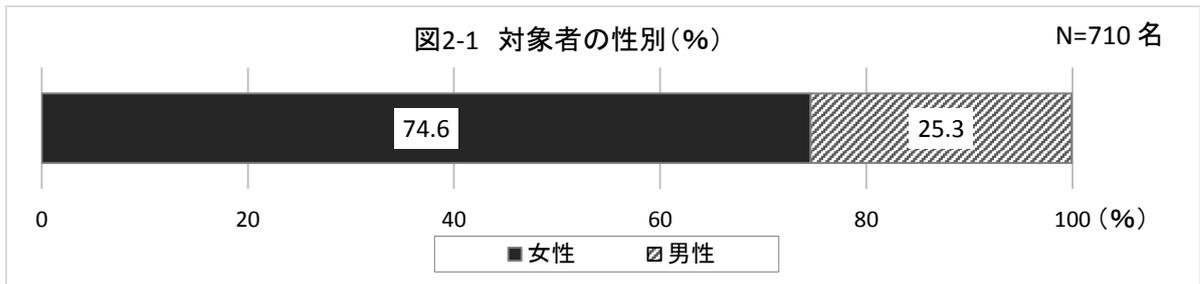
1) 地図による要支援高齢者の分布状況

要支援高齢者全 1,033 名の町別の分布状況を図 1 に示す。なお、地図の赤線は小学校区の分けを示している。



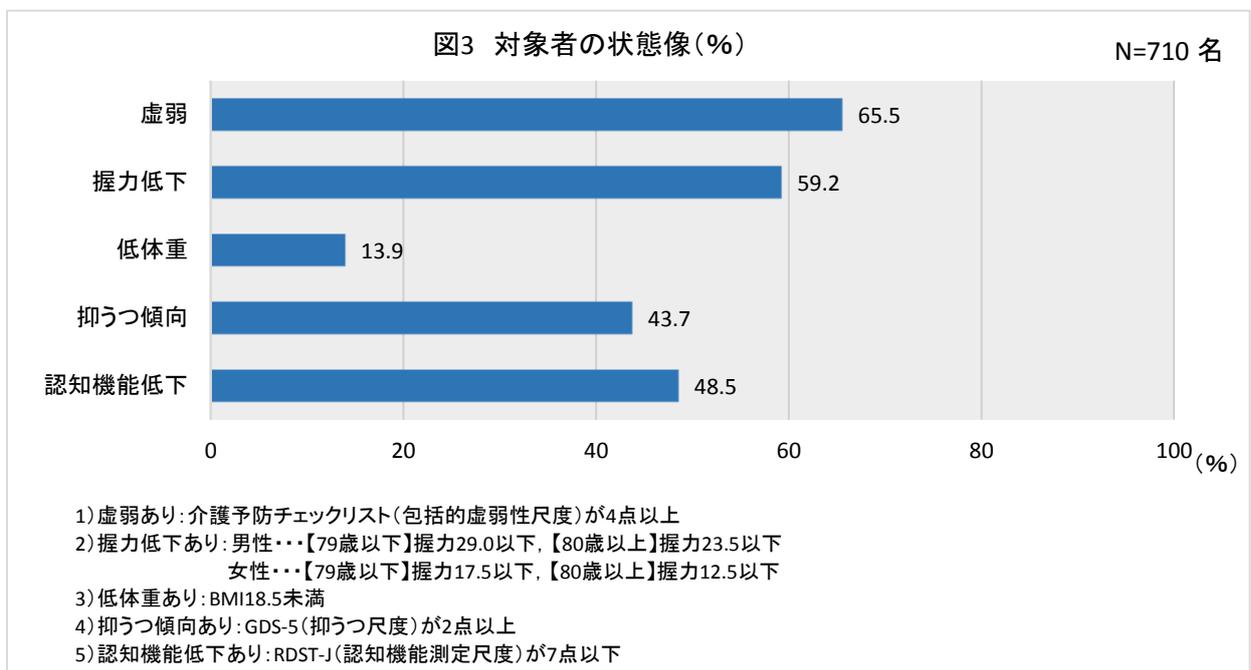
2) 対象者の基本属性

訪問完了者 710 名（100%）の性別は女性が 74.6%、年齢は 75 歳以上 85 歳未満が 49.4%、世帯構成は独居者が 44.4%であった（図 2-1～図 2-3）。



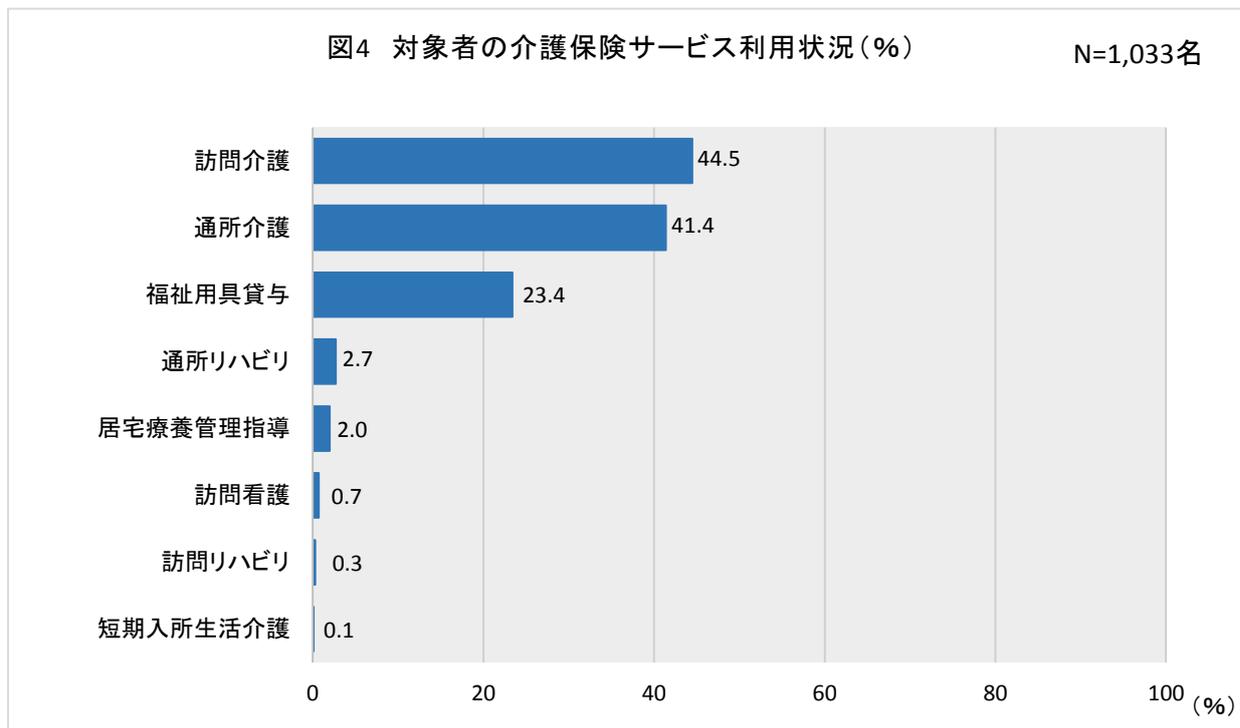
3) 対象者の状態像

訪問完了者 710 名（100%）の状態像は、虚弱ありの者が 65.5%、握力低下ありの者が 59.2%、低体重ありの者が 13.9%、抑うつ傾向の者が 43.7%、認知機能低下者が 48.5%であった（図 3）。



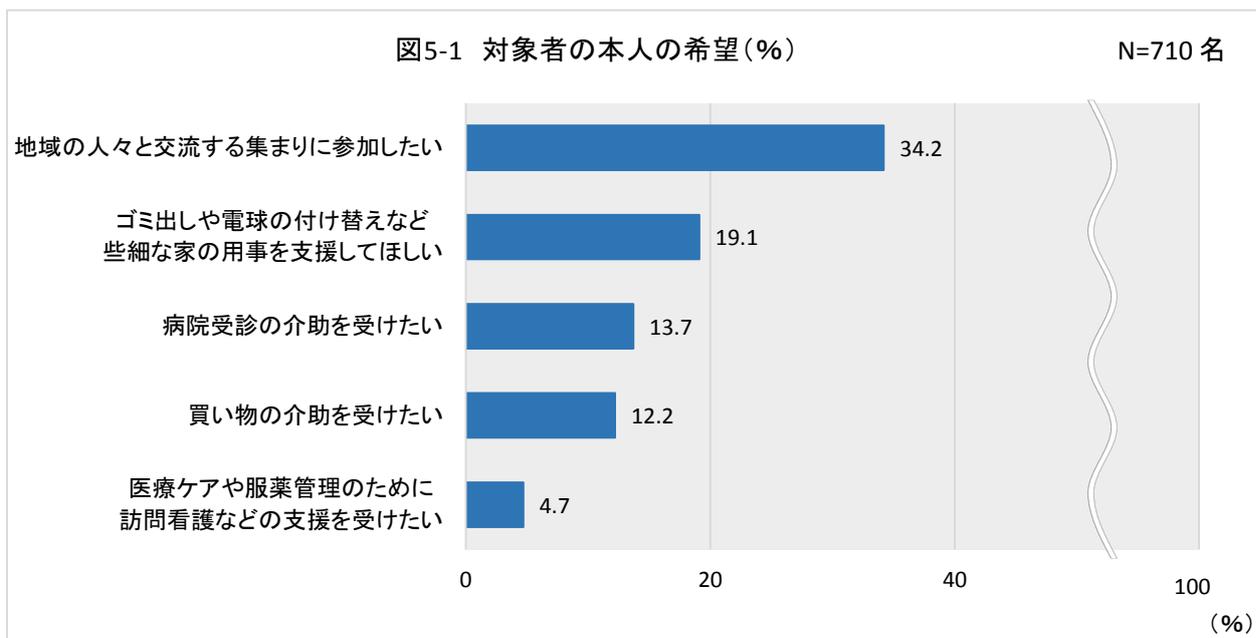
4) 対象者の介護保険サービス利用状況

要支援高齢者全 1,033 名（100%）の介護保険サービスの利用状況は、訪問介護利用者が 44.5%、通所介護利用者が 41.4%、福祉用具貸与利用者が 23.4%であった（図 4）。



5) 対象者の本人の希望

訪問完了者 710 名（100%）の本人の希望では、地域の人々と交流する集まりに参加したい者が 34.2%、ゴミ出しや電球の付け替えなど些細な家の用事を支援してほしい者が 19.1%であった（図 5-1）。



(1) 地図による本人の希望の分布状況

本人の希望の地図による分布状況を図 5-2-1～図 5-2-5 に示す。なお、地図中の階級区分は町内訪問完了者（100%）における該当者の割合（%）であり、赤線と地区名は小学校区を示す。凡例は市内の主な社会資源である。

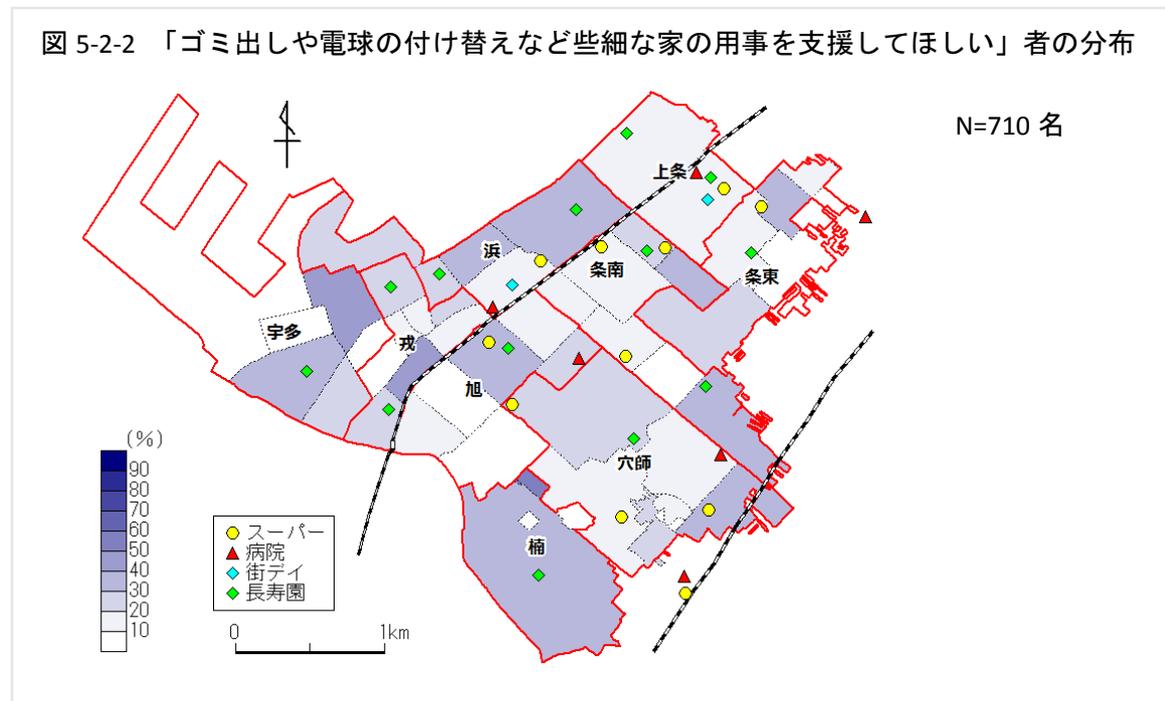
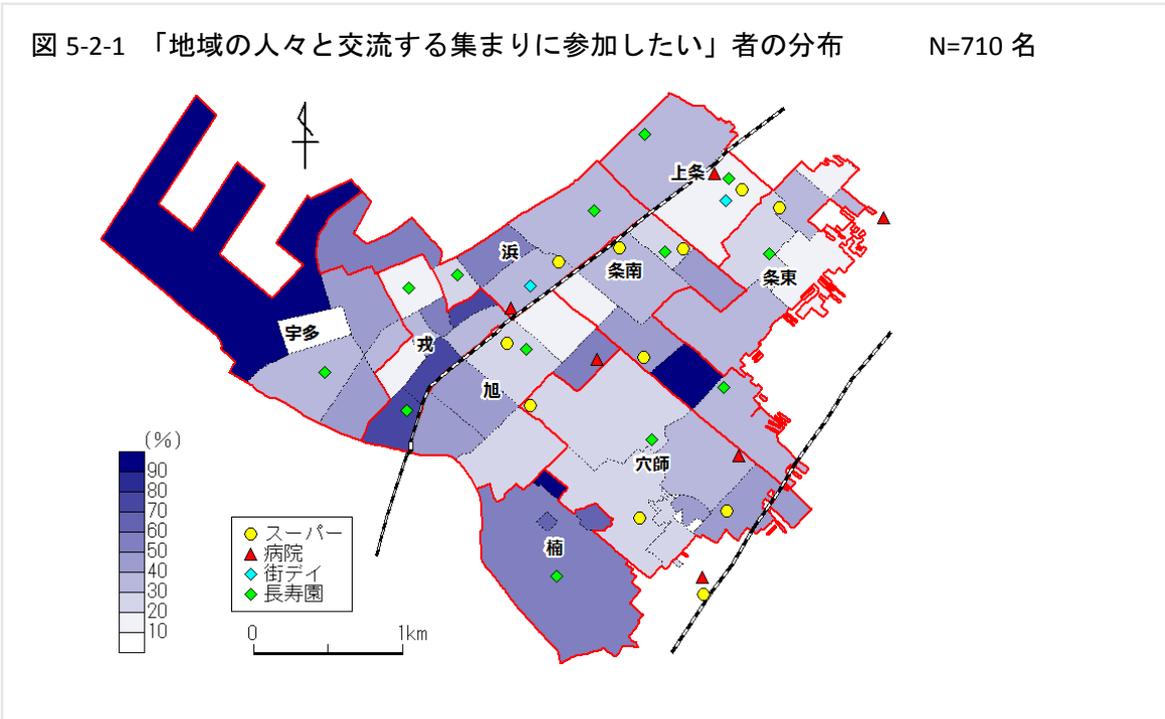


図 5-2-3 「病院受診の介助を受けたい」者の分布

N=710 名

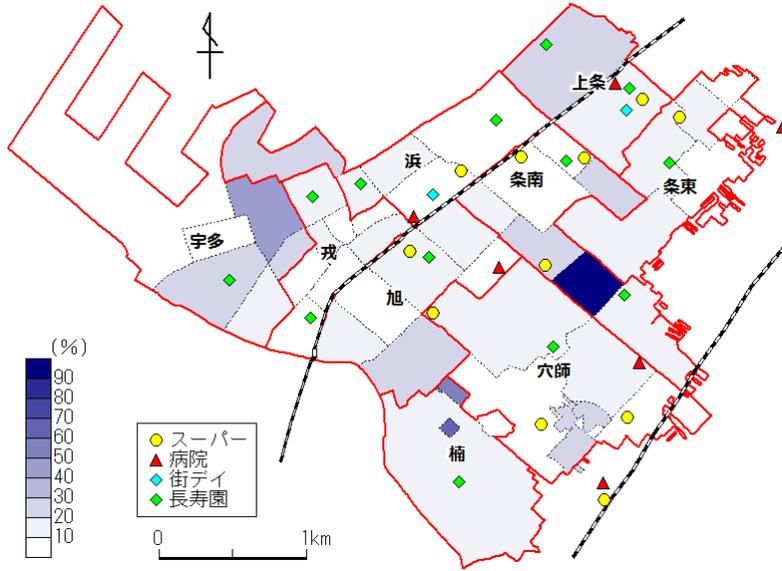


図 5-2-4 「買い物の介助を受けたい」者の分布

N=710 名

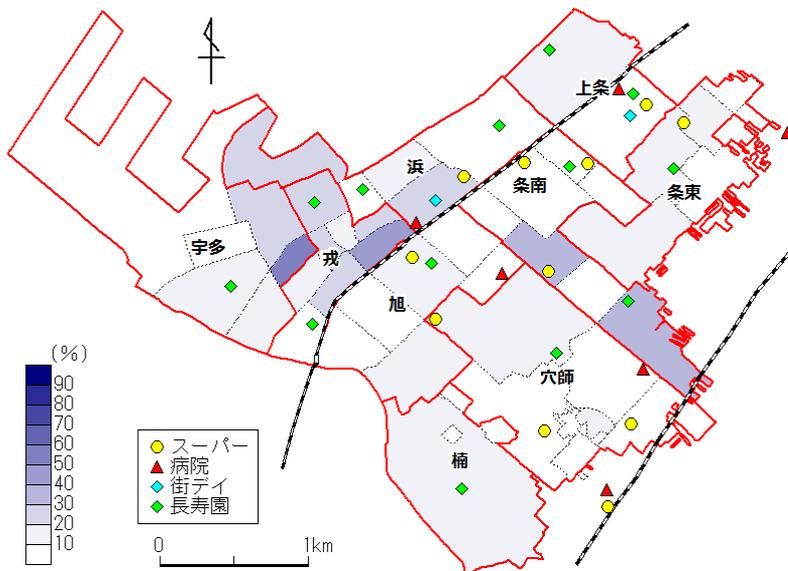
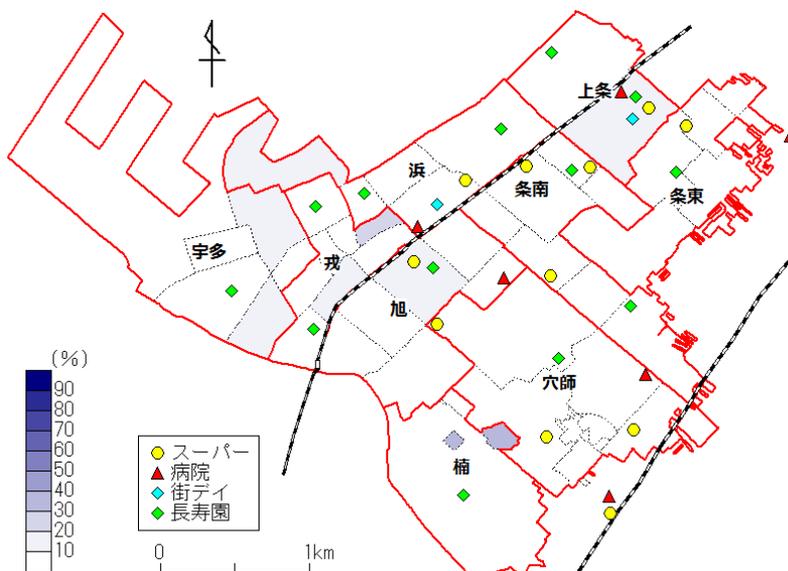


図 5-2-5 「医療ケアや服薬管理のために訪問看護などの支援を受けたい」者の分布

N=710 名

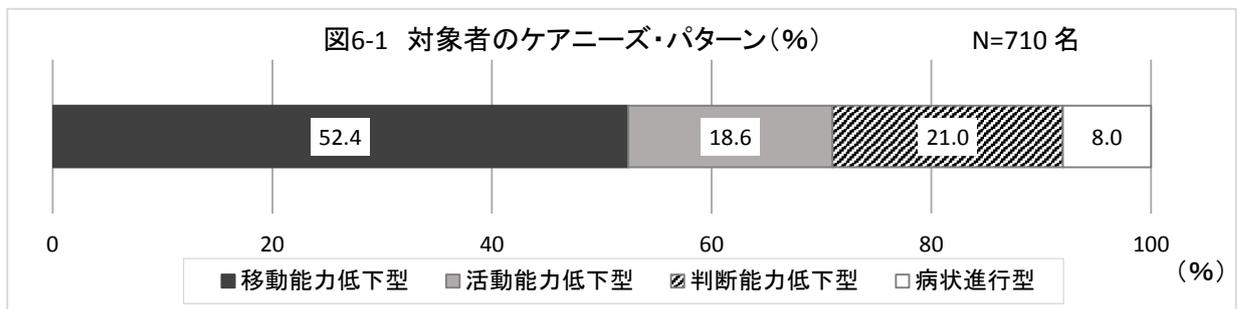


6) 対象者のケアニーズ・パターン

地域包括支援センター専門職の判断により、対象者のケアニーズ・パターンを分類した(表1)。訪問完了者710名(100%)のケアニーズ・パターンは、移動能力低下型は52.4%、活動能力低下型は18.6%、判断能力低下型は21.0%、病状進行型は8.0%であった(図6-1)。

表1 ケアニーズ・パターンの内容

移動能力低下型	移動能力が低下し、屋内で日常生活を行うために基本的な生活支援が必要
活動能力低下型	活動能力が低下し、屋外での活動を支援し、生活の質を高める社会的な生活支援が必要
判断能力低下型	認知機能低下やうつ傾向のため、心理的支援が必要
病状進行型	進行性疾患のため専門的な医療管理が必要



(1) 地図によるケアニーズ・パターンの分布状況

ケアニーズ・パターン該当者の地図による分布状況を図6-2-1～図6-2-4に示す。なお、地図の階級区分は町内訪問完了者(100%)における該当者の割合(%)であり、赤線と地区名は小学校区を示す。

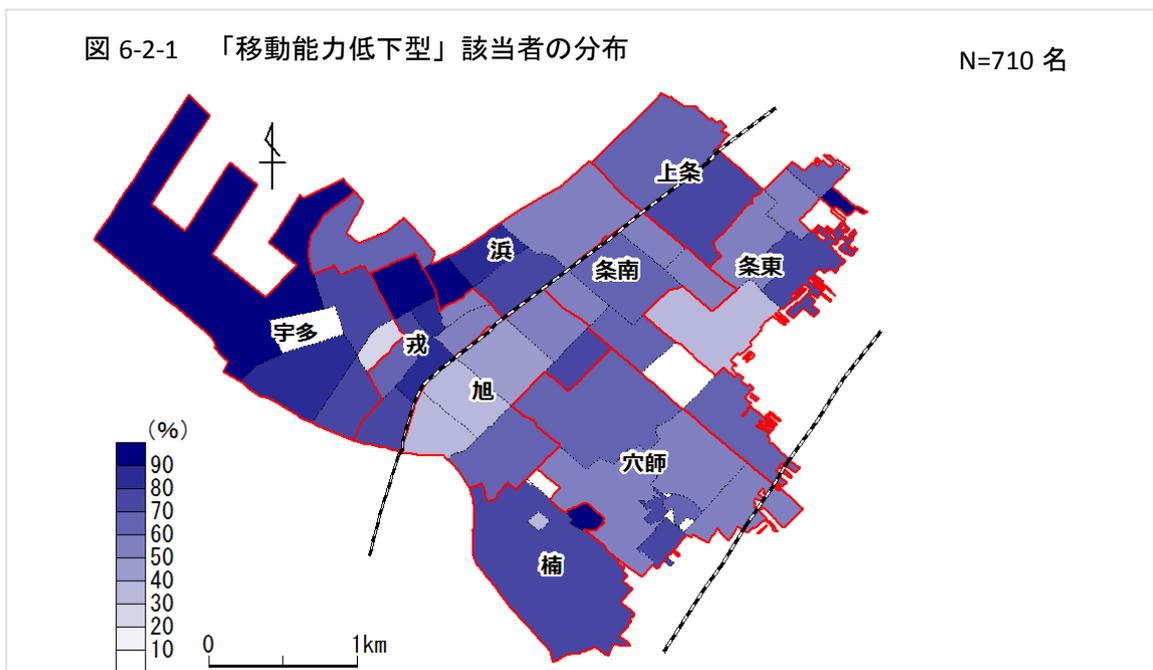


図 6-2-2 「活動能力低下型」 該当者の分布

N=710 名

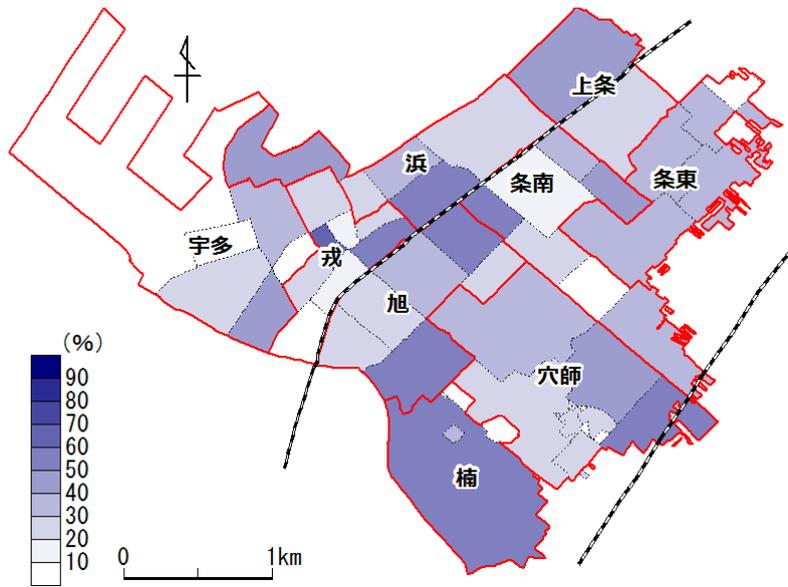


図 6-2-3 「判断能力低下型」 該当者の分布

N=710 名

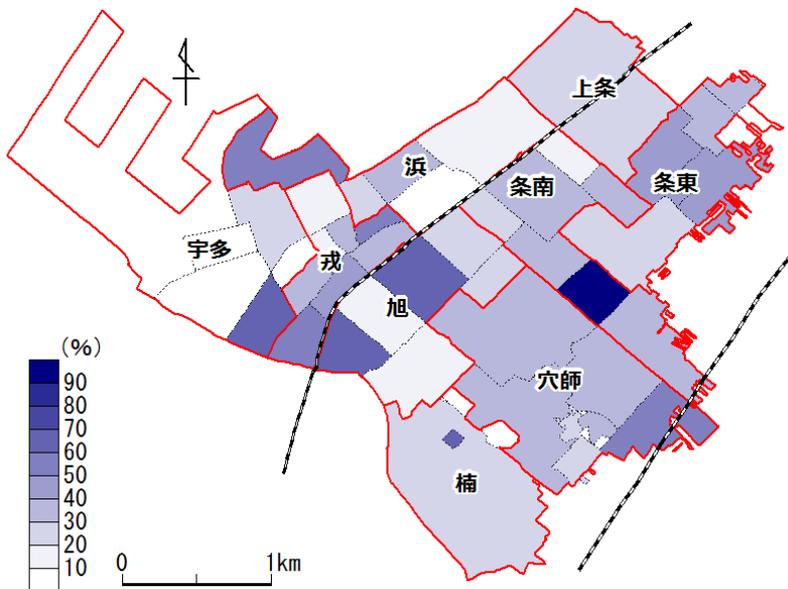


図 6-2-4 「病状進行型」 該当者の分布

N=710 名

